

みずほCustomer Desk Report 2020/05/21号 (As of 2020/05/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

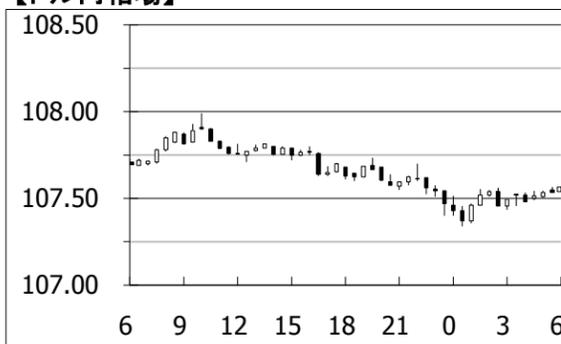
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.98
TKY 9:00AM	107.83	1.0928	117.82	GBP/USD	1.2258
SYD-NY High	107.99	1.0999	118.19	AUD/USD	0.6541
SYD-NY Low	107.34	1.0919	117.65		
NY 5:00 PM	107.57	1.0980	118.09		
NY DOW	24,575.90	369.04	日本2年債	-0.170	▲1.00bp
NASDAQ	9,375.78	190.67	日本10年債	0.000	0.00bp
S&P	2,971.61	48.67	米国2年債	0.1673	0.11bp
日経平均	20,595.15	161.70	米国5年債	0.3439	0.96bp
TOPIX	1,494.69	8.64	米国10年債	0.6891	▲0.16bp
シカゴ日経先物	20,740.00	325.00	独10年債	-0.4695	▲0.35bp
ロンドンFT	6,067.16	64.93	英10年債	0.2270	▲1.80bp
DAX	11,223.71	148.42	豪10年債	0.9620	▲1.00bp
ハンセン指数	24,399.95	11.82	USDJPY 1M Vol	5.94	▲0.34%
上海総合	2,883.74	▲14.84	USDJPY 3M Vol	6.53	▲0.32%
NY金	1,752.10	6.50	USDJPY 6M Vol	7.35	▲0.30%
WTI	33.49	1.53	USDJPY 1M 25RR	-1.13	Yen Call Over
CRB指数	130.91	1.34	EURJPY 3M Vol	8.41	▲0.23%
ドルインデックス	99.12	▲0.25	EURJPY 6M Vol	9.07	▲0.22%

【昨日の指標等】

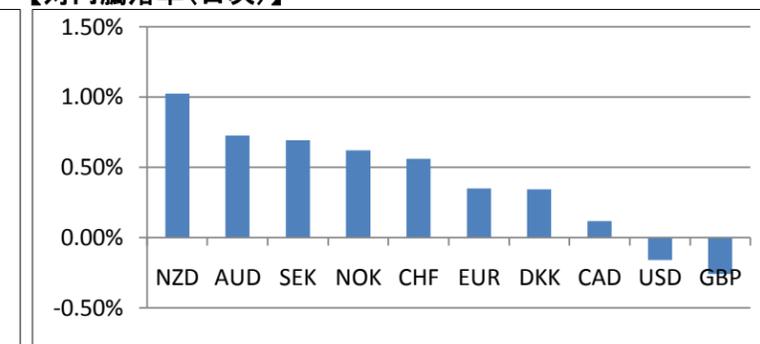
Date	Time	Event	結果	予想
5月20日	15:00	英	GPI(前月比/前年比)	4月 -0.2%/0.8%
	18:00	欧	GPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.3%/0.3%
	23:00	米	ポスティック・アトランタ連銀総裁「米国の経済回復、極めて強い不透明感がある」	0.3%/0.4%
5月21日	01:00	米	ブラード・セントルイス連銀総裁「FRBや財政の規模は先行きに吉兆」	

Date	Time	Event	予想	前回
5月21日	17:00	欧	マークイット製造業/サービス業/総合PMI	5月 38.0/25.0/27.0
	17:30	英	マークイット製造業/サービス業/総合PMI	5月 37.2/24.0/25.7
	21:30	米	フィラデルフィア連銀景況指数	5月 -40.0
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 2400k
	22:45	米	マークイット製造業/サービス業/総合PMI	5月 39.5/32.3/-
	23:00	米	中古住宅販売件数	4月 4.22M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



アジア
東京時間のドル円は107.83レベルでオープン。前日からのリスクオンムードを引き継ぎ、朝方のドル円は堅調推移となり107.99まで上昇。しかし、戻り売りに阻まれ108円台へは戻せず、そのまま108円丁度付近での上値の重さが意識されると、じりじりと下落する展開に。結局107.71まで下落し、107.77レベルで海外時間へ渡った。

ロンドン
ロンドン市場のドル円は107.77レベルでオープンし、新規材料に欠けるなか、約30銭のレンジで推移。全般にドル売りが先行し、107.55まで売られる局面もあったが、107.60レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2239レベルでオープン。4月の消費者物価指数は前年同月比0.8%上昇と、英中央銀行のインフレ目標を下回り、金利先物市場ではマイナス金利導入の観測が高まったが、ポンドドル相場はほぼ横ばいした。1.2264レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マクルヒル)

ニューヨーク
海外市場のドル円は、5、10日絡みのドル買いに107.99まで戻すものの、その後はドル売りが優勢となり、107.60レベルでNYオープン。朝方はトランプ大統領が中国を批判する発言が伝わりドル買いが優勢となり107.70まで戻す。しかし月曜に報道された別の米バイオテック企業が開発中のワクチンで新型コロナウイルスの抗体が確認できたことを発表し、米大手ホームセンターの売上が大幅に増加したことも好感され、リスク志向からドル売りが更に強まり、107.34まで下落する。その後はFOMC議事録や久しぶりに再開される米20年債入札結果発表を控え107.56まで戻す。午後は20年債入札結果が良好との見方に米金利が低下したことからもドル円も107.44まで反落する。続いて発表されたFOMC議事録では特段驚くような内容も見当たらず、ドル円の反応は限定的となり、107.50付近での推移が続き、107.57レベルでクロスした。一方、海外市場でドル売りが優勢となり、ユーロドルは1.0966レベルまで戻しオープン。朝方やドルが買い戻される局面もあったものの、再びドル売りが強まり1.0999まで戻す。午後に入り利食い売りで1.0972まで反落したものの、ドル売りに午後後も堅調な推移が続き、1.0980レベルでクロスした。(NY井上)

【マーケット・インプレッション】 油断大敵

足許、米国の株式市場は落ち着きを取り戻し、新型コロナウイルスのショックによる下落から半値戻しの水準で推移している。4月の財政収支が▲7,379億ドルと単月で圧倒的な過去最大の赤字を記録になった要因の一つである巨額の財政政策と、金融当局による流動性の供給によって、市場はV字回復となることを織り込んでいる。一方、原油市場は供給過多による価格下落で、株式市場と比し未だ低位推移。通常であれば、原油価格の下落はエネルギー関連の設備投資や消費の喚起によって米国内での経済的影響はほぼ打ち消しあうはずであるが、今回は新型コロナウイルスの感染拡大で、外出や消費が制約されていることから従来通りではないだろう。むしろマイナスの影響が勝る可能性が大いにある。加えて、足元の株価回復は、幻想にすぎないという意見もある。新型コロナウイルスの影響は長期にわたって続く公算が大きく、経営破綻が相次ぐことでV字回復の夢は消え失せよう。世界恐慌時の株価の推移も、急落からしばらく回復局面に入ったあと、数年にわたり株価は下落。経済のリカバリーにはかなりの時間を要した。落ち着きを取り戻しつつあるように見える相場だが、新型コロナウイルスによる相場急変にはまだまだ注意が必要だろう。(原田)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。